

# とやま

県広報とやま

2001

9  
月号

No.387

富山県

特集 食と生活をささえる農業・農村をめざして  
～富山県農業・農村新世紀プラン策定～



京劇俳優として日本と中国の文化交流に努めながら、県内各地で太極拳の指導をする陳建強さん（後ろより2列目中央）と太極拳教室の皆さん。

7月  
9日

## 流域の全市町村で下水道が利用可能に 神通川左岸流域下水道供用記念式

七月九日、平成三年から整備を進めてきた神通川左岸流域下水道の全市町村供用記念式が新湊市で開催されました。

この七月に最上流の八尾町で一部供用が始まったことで、流域の全市町村で下水道を利用できることになりました。式典には、関係者約百五十人が出席し、中沖知事、神通川左岸流域下水道促進期成同盟会会長の分家新湊市長らによるくす玉割りなどが行われました。



記念式であいさつをする中沖知事

同下水道事業は、神通川と庄川にはさまれた富山市、新湊市、高岡市、小杉町、大門町、婦中町、八尾町、下村、大島町の九市町村を対象としており、そこに住む約二十一万人の生活環境の向上と富山湾、神通川などの水質保全を目的としています。

県では、新たに策定した「全県域下水道化新世紀構想」に基づき、県内全域の下水道化を積極的に推進することとしています。

問合せ  
県庁下水道課  
☎076(444)3351

7月  
24・25日

## 小中高生が科学の楽しさを実感

「第12回英国科学実験講座クリスマスレクチャー2001」開催

最先端の科学を分かりやすく楽しく紹介する「英国科学実験講座」が七月二十四日、二十五日の二日間、富山国際



最先端のロボットと一緒にダンスをする子どもたち

会議場で開催されました。

同講座はイギリスで毎年クリスマスの時期に開催されている講義を日本で再現するもので、今年は、21世紀ロボットが変わる」をテーマにイギリス・レディング大学のケビン・ウォーウィック教授を講師に招いて行われました。

会場には、小中高生を中心に二日間で延べ千七百人が集まりました。講義では、様々な実験が行われ、子どもたちも積極的に参加していました。

最先端技術を用いたロボットがたくさん登場し、人と同じようにダンスをするものや、声に反応したり、においを識別したりする様子に会場からは驚きの声があがっていました。

した。

県では、今後とも科学技術を身近に親しめる機会を充実させ、科学技術を担う人材の育成に努めていきます。

問合せ  
県庁商工企画課  
☎076(444)3245

7月  
26日

## 新トンネル完成で渋滞解消へ

呉羽トンネル第二期線開通式

七月二十六日、県道富山小杉線富山市太郎丸～小杉町白石)の呉羽トンネル第二期線の開通式が、富山市古沢の同トンネル西側入口で行われました。

開通式には関係者約百人が出席し、中沖知事がトンネルの完成により、周辺地域の連携が強化され産業・経済が発展することを期待します」とあいさつしました。

呉羽トンネル付近の区間は慢性的な交通渋滞をきたしていたことから、平成十一年三

月より四車線化のための新トンネル建設工事が行われてきました。

新トンネルの完成に伴い、老朽化した既存トンネルの補修工事に取り掛かるため、現在、通行できるのは二車線となっています。実質的な四車線化は来年春からになります。

県では、同トンネルを含む婦中町安田から小杉町黒河新までの四車線化工事を進めており、平成十四年度末の完成をめざしていきます。

問合せ  
県庁道路課  
☎076(444)3320



新トンネル完成を祝い、くす玉を割る関係者



## CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き / 県ナビとやま	2
特集	3
食と生活をささえる農業・農村をめざして	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
防災に心がけましょう!	
とやま感動案内	9
富山県中央植物園	
とやまのやる気・元気	11
京劇俳優・とやま日中文化交流会副会長 陳 建強さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
山並みに響くこきりこ祭り	
[平村]	

## 県政の動き

(6/16 ~ 8/15)



- 7月 3日** 主要地方道富山立山魚津線 白竜橋完成式
- 9日** 神通川左岸流域下水道全市町村供用記念式
- 19日** 環日本海インターハイ親善交流大会(～22日)
- 24日** 第12回英国科学実験講座クリスマスレクチャー2001(～25日)
- 26日** 主要地方道富山小杉線 呉羽トンネル開通式
- 29日** 参議院議員選挙
- 30日** 利賀サマー・アーツ・プログラム(～9月16日)
- 8月 1日** 新大長谷第一発電所 水車発電機初回転式
- 5日** 12歳立山夢登山(～7日)
- 7日** 第6回水シンポジウム in とやま(～8日)

県の施設 ナビゲーター

県ナビ  
とやま

No.3

## 環日本海貿易交流センター

環日本海地域との経済交流を支援します



環日本海貿易交流センターでは、環日本海諸国との貿易・投資交流を促進するため、日本貿易振興会(ジェトロ)などと連携し、次のような仕事をしています。

### (1) 各種セミナー・実務講座の開催

環日本海地域の経済情勢、投資環境をテーマにしたセミナーや貿易・投資の手続きなどの実務講座を開催

### (2) 貿易・投資コンサルティングの実施

環日本海地域の貿易・投資に精通したアドバイザーを配置し、県内企業からの貿易・投資相談に対して的確なアドバイスを実施

### (3) 環日本海経済情報ネットワークの推進

環日本海地域の自治体政府、経済支援機関などと連携・協力し、豊富な経済情報を提供

### (4) 定期刊行物の発行・専門調査の実施

環日本海地域のビジネス情報を掲載した「環日本海貿易ジャーナル」の発行やニュースレター

「Biweekly」の配信、貿易・投資に関する具体的な案件について専門調査を実施

### (5) NEAR21 事業

平成11年10月にジェトロなどとの共催で開催したNEAR21(北東アジア経済交流EXPO)の成果をふまえ、北東アジア地域との効果的な経済交流事業を継続的に実施

### DATA

環日本海貿易交流センター

〒930-0866 富山市高田527  
情報ビル2F

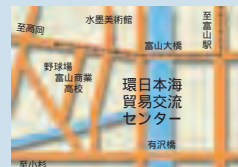
☎ 076(432)1321

FAX 076(432)1326

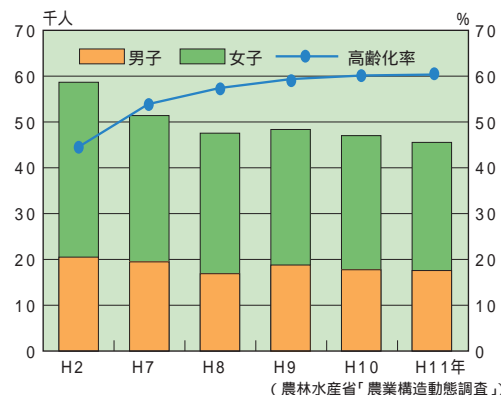
E-mail [staff@toyama-smenet.or.jp](mailto:staff@toyama-smenet.or.jp)

開所時間は午前8時30分から午後5時まで  
ホームページ

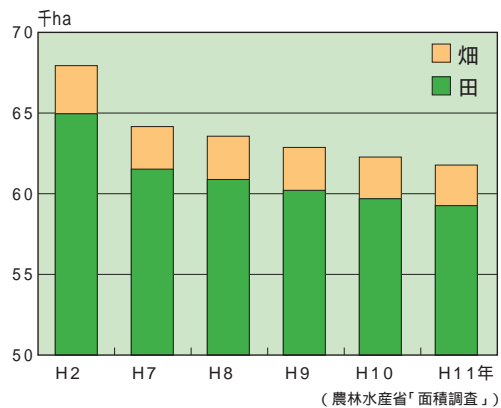
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1302/kannihon/index.htm>



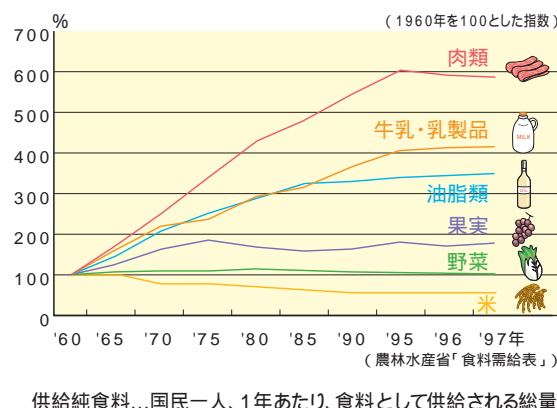
富山県の農業就業人口の推移(販売農家)



富山県の耕地面積の推移



国内の主要品目別供給純食料の推移



供給純食料...国民一人、1年あたり、食料として供給される総量

農業・農村を取り巻く情勢と対応

肥沃な大地、清冽な水…。富山県の農業は、豊かな自然の恵みを受けて古くから稲作を中心に発展してきました。そこから生産される農作物は、私たちの暮らしを支え、生活に活力と潤いを与えています。

しかし、二十一世紀を迎え、食の洋風化に伴う米の消費の減少と食習慣の乱れ、担い手の高齢化や後継者不足、耕地面積の減少、農産物価格の低迷など、農業・農村をめぐる情勢は、大変厳しい状況になっています。

このため県では、平成十三年度から二十二年度までの十年間を計画期間とする「富山県農業・農村新世紀プラン」を策定しました。

では二十一世紀初頭における本県の農業・農村のめざすべき方向、農業・農村施策の展開にあたっての基本方針とこれを実現するためのの方策を示しています。

# 食と生活をささえる農業・農村をめざして

## ～富山県農業・農村新世紀プラン策定～

本県の農業・農村を取り巻く情勢は大きく変化しています。県ではこのたび、「富山県農業・農村新世紀プラン」を策定しました。今後、このプランに基づき、本県の農業・農村が、県民の皆さんの「食」と「生活」をささえる貴重な産業・空間としての役割を十分に発揮し、将来にわたって持続的に発展していくよう、総合的・計画的に施策を進めることにしています。



### プランが示す三つの基本方向

プランでは、農業は、安心できる新鮮な農産物を供給する役割とともに生活と密接に関わり多面的な機能をもつ生命産業として、農村は、北アルプスの豊かな水や自然に擁<sup>いた</sup>かれ、人々が日々の生活をやすらぎとするおいをもつて送る空間として位置づけ、農業・農村が県民の「食」と「生活」をささえる産業・空間としての役割を果たしていく必要があると考えています。

### このため、

食をささえる産業としての農業の展開  
将来にわたって持続できる農業構造の確立  
県民の生活空間として、住みやすく活力のある農村の創造  
の三つの基本方向に基づき、その実現に向けてさまざまな施策を展開し、県民の食と生活をささえる農業・農村をめざすことにしています。

農業・農村は多くの役割を担っています

### 農業

農産物の供給機能のみならず、生活と密接に関わる多面的な機能を有する「生命産業」

### 農村

北アルプスの豊かな水と緑に包まれ、人々が日々の生活をやすらぎとするおいをもつて送る「擁<sup>いた</sup>だき」の空間

食料安全保障  
食料供給

農業・農村の  
多面的機能

### 環境保全

良好な景観の形成  
自然環境の保全  
水源のかん養  
国土の保全

### 地域社会の維持活性化

地域社会の維持活性化  
保健休養  
文化の伝承

食をささえる産業としての農業の展開

県民が富山の安全で新鮮な食料を消費し、農業はそのニーズに即した農産物を供給するとともに、美味しい富山米や品質の高い大豆を全国へ供給するなど、農業が食をささえる産業としての役割を果たすことをめざします。

新たな食の創造と食文化の伝承

富山の食文化を後世に



朝日なないろ特産会会長 弓野 良子さん(朝日町)

「みんなのやる気、女性パワーがすごいです。」

そう話す弓野さんは安全で新鮮な野菜づくりや農産加工品の開発に取り組んでいる。将来は、農産物や地元産の食材を生かした加工品を多くの人に提供するため常設の直売所を設置するのが夢だと言います。

平成八年から東京の消費者団体との交流を始め、都市消費者のニーズに応えた特産品開発も行っている。

また、弓野さんは「食の伝承人」としての顔も持ち、町の郷土食、みそがらば

施策の基本方向

- ・食生活指針の普及啓発、農業者と消費者・食品産業等との連携・交流、望ましい食料消費の推進
- ・富山から生まれた食文化の伝承、地域の食材を活かした新たな食の創造
- ・安心・新鮮な農産物の生産と県民への安定的な提供(地産地消)、美味しい富山米、品質の高い大豆などの農産物を全国へ供給する役割を果たせるよう農業生産力の増強
- ・先端技術を活用した試験・研究、農業・農村や農産物に関する情報のネットワーク化の推進

などの伝承・普及活動に取り組んでいる。「今の子どもは、自分の町の郷土料理を知らない子が多いですね。ふるさとの味を後世に伝えることも自分たちの役目だと思っています。」



食の伝承人：富山の食文化の伝承と県内外への発信を図るため「伝承活動に積極的な人を県が認定する(現在二十五人を認定)」

県民の生活空間として、住みやすく活力のある農村の創造

富山が誇る地域資源を生かし、住民参加の農村づくりを展開し、高齢化や情報化にも対応した住みやすく活力のある農村の創造をめざします。

住民参加型のふるさとづくり

農業用水路を憩いの場に整備



せせらぎ水路環境整備協議会会長 廣田 暁さん(上市町)

「最近、子どもたちが自然の中で遊ぶ機会が減ってきています。そこで、地域住民に自然や環境保全の大切さを体感してもらおうと思ったのがきっかけです。」

廣田さんは、既存の農業用水路を活用し、その上に足首が漬かる程度の手作りの水路(全長約六十m)を造成。住民自ら清掃や維持・管理を行っている。「子どもからお年寄りまでいろんな人の交流の場になっています。夜にはライトアップするので、若者のデートスポットにもなっているみたいです。」「川にはいろんな動植物が生息しています。子どもたちには、自然との触れ合いを通して生命の尊さを感じてもらいたい」と



せせらぎ水路を舞台に、魚のつかみ取りや花火大会など各種イベントも行われる。廣田さんは「せせらぎ水路」の発案者で、自ら設計を手がけた。

施策の基本方向

- ・農山村文化、散居村の美しい農村景観などの地域資源を住民自らが見直し住民が参加する農村づくりの推進、農村下水道など基礎的な生活基盤の整備の推進
- ・高齢化など活力の低下が進む中山間地域に対して総合的な活性化対策
- ・水源のかん養、洪水の調節など農業・農村のもつ多面的な機能が発揮されるような施策の展開

「と思っています。」

廣田さんは、いつの日かこの水路に無数のホテルが飛び交うようになればと願っている。

「これからの課題は、一人ひとりが、この水路は地域の財産」という認識を持つことですね。行政任せではなく、地域のもので、自分たちの手で守っていくことが、いつ意識改革が必要だと思えます。」

将来にわたって持続できる農業構造の確立

経営の法人化など、効率的・安定的な農業経営を育成し、これらの経営が、地域の農業の大部分を担うような農業構造の確立をめざします。

安定的で持続的な経営をめざして

地域に貢献する農業経営



樽蔵産業有限会社代表取締役 石王 誠さん(写真左端)と従業員の皆さん(福岡町)

「二百六十五日、毎日が挑戦ですよ。」

そう話す石王さんは、農業経営では、農閑期をいかに上手に生かすかが大切だと考え、冬場に空く田んぼでかぶを栽培しながら、かぶの加工販売も行うなど、通年経営を確立している。

「これからの農業は、採算だけを考えるのではなく、理念をしっかりと持っていないとだめですね。自分の支えとなっているのは、持続的な農業経営をめざすことです。」



大豆の培土作業に精を出す石王さん。かぶら寿しはほとんど直販。電子メールなどで全国各地から注文が舞い込む。

「お客さんや地主に喜ばれ、地域に貢献してこそ一人前として認められるのかもしれないですね」と語る。

- ・個別経営や法人経営、生産組織など効率的かつ安定的な経営を行う担い手の育成及び農業構造の確立
- ・耕地利用率の向上を目指した生産基盤の整備、農業用排水施設の整備
- ・環境にやさしい農業の推進など自然環境と共生した農業生産や農村づくりの展開

施策の基本方向

富山県では、これまで、優れた栽培技術、先進的経営への取組み、全国でも屈指の整備された生産基盤などに支えられ、生産性の高い農業が展開されてきました。

二十一世紀における富山県の農業・農村の振興のキーワードは、「食」と「生活」。この食と生活をささえる農業・農村の実現をめざすためには、農業者や地域住民の取り組みを基本とし、市町村、農業関係機関・団体との緊密な連携と協力のもと、それぞれ役割を果たしていくことが重要です。

県庁企画管理課まで  
076(444)3368

食祭とやま2001開催！ 入場無料

「食の祭典」が、今年は富山市で開催されます。魅力いっぱいの美味しい企画が盛りだくさんですので、富山の「食」を見て、感じて、そして味わってみてください。



会期 10月20日(土)~21日(日)

場所 テクノホール(富山産業展示館)ほか

内容	特産王国とやまふれあい市	県内35市町村の特産品、大鍋勢ぞろい
	とやまの食文化紹介	ますの寿しの歴史、細工かまぼこ、「食の伝承人」による郷土料理の実演・試食等
	食文化フォーラム	富山の食について考えるパネルディスカッション パネリスト/黒部 進氏 ほか
	イベントステージ	親子ステージ「いないいないばあっ!」、富山広域圏の郷土芸能公演、とやま特産大使コンテスト等

問合せ  
食祭とやま実行委員会事務局(県庁生産流通課内)  
☎ 076(444)3271

# 防災に心がけましょう!

本県は地震や水害などの自然災害が比較的少ない、全国でもトップレベルの「安全で安心して暮らせる県」といわれています。しかし、かつては河川のはんらん、豪雪、大火など多くの苦難に遭遇しており、大規模な地震などの大災害が発生する恐れがないわけではありません。9月1日は「防災の日」です。この機会に防災対策、火災予防について確認しましょう。

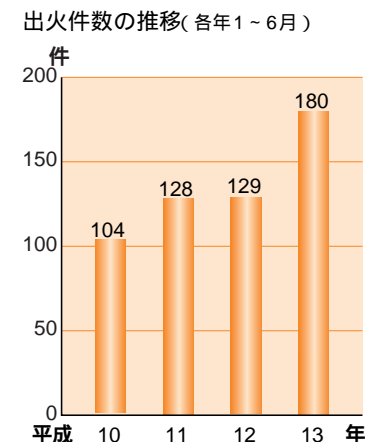


7月3日に開催された「出火率10年連続全国最小記録達成記念感謝と決意の集い」。中沖知事から10年間無火災の消防団などに表彰状が渡されました。

**無火災をめざし、防火運動を強化しましょう**

本県の平成十二年中の出火件数は二百五十八件、出火率(人口一万人当たりの出火件数)は二・三ポイントで、いずれも全国で最も低い数値となっています。特に、出火率は、平成三年から十年連続で全国最小を記録しており、県民の皆さんの防火意識の高さと日ごろの火災予防の成果と思われまます。しかし、今年に入ってから例年よりも多くの火災が発生しており、六月までの出火件数は百八十件と昨年の同時期に比べ、三十九・五%増加し、死亡者数も十六人(昨年の同時期は十二人)にのぼっています。本県では、従来から消防機関をはじめ、消防団、少年消防クラブ、婦

人消防クラブなどにより、積極的な火災予防運動が行われてきましたが、今後とも県民一丸となった防火運動の継続が必要です。皆さんも地域による防火運動の輪に入り、「無火災富山県」をめざしましょう。



主な出火原因(平成13年1~6月)

原因	件数	構成比
たばこ	19	10.6%
ストーブ	16	8.9%
放火	16	8.9%
火入れ	14	7.8%
こんろ	9	5.0%

野火、枯れ草焼きの火の延焼拡大、飛び火

**火の用心のポイント**

- 家の周囲に燃えやすいものを置かない
- 寝たばこは、この投げ捨てはしない
- こどもにはマッチやライターで遊ばせない
- 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- ストーブには、燃えやすいものを近づけない

**まちぐるみで防災活動に取り組みましょう**

災害が発生したとき、広い範囲での火災の発生や道路の損壊などにより、消防などの防災機関が十分に対応できないことも考えておかなければなりません。いざというとき、被害を最小限に抑えるためには、日ごろから「自分たちの町は自分たちで守る」という意識を持ち、まちぐるみで防災活動に取り組むことが大切です。県では、地域住民の自主的に組織的な防災活動を積極的に支援しています。

自主防災組織の結成や運営方法、防災器材の整備などについては、各市町村、消防本部などにお気軽にご相談ください。

普段からこれだけは準備しよう!



## 地震から身を守る10か条

- 1 グラツ!ときたら 火の始末**  
ガスコンロやストーブなどの火を確実に消しましょう。
- 2 戸や窓を開けて 出口の確保を**  
閉めたままだと建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがあります。
- 3 テーブルの下などに 身をふせる**  
倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくしましょう。
- 4 あわてて 外に飛び出すな**  
あわてて外に飛び出すと、瓦やガラス、看板などの落下で、かえって危険です。
- 5 火が出たら 初期消火を**  
隣近所にも協力を求め、煙や炎ではなく、火元に水や消火液をかけましょう。
- 6 みんなで助け合って 応急救護を**  
お年寄りや体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合いましょう。
- 7 正しい地震情報を**  
うわさやデマに振り回されないように、ラジオやテレビなどで正しい情報入手しましょう。
- 8 避難は早めに まだ大丈夫は危険**  
できるだけ集団で、素早く避難し、持ち物は最小限にしましょう。
- 9 せまい路地や塀きわ、近づくない**  
ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので注意しましょう。
- 10 山崩れ・がけ崩れ、津波に注意**  
危険な場所にいる場合は、急いで安全な場所に逃げましょう。

## 「防災の日」と「防災週間」

地震や火災などの災害に対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減を図るため、毎年九月一日を「防災の日」、この日を含む八月三十日から九月五日までの一週間を「防災週間」とし、防災知識普及のための講演会の開催、防災訓練などが全国的に実施されています。県でもこの時期、県総合防災訓練を実施するほか、各市町村、防災関係機関および各企業などで様々な事業が展開されます。

問合せ:ご意見は、  
県庁消防防災課  
076(444)3187



夏休みには小学生植物ふしぎ教室が開かれるなど、年に10数回、講座や講習会が開催される。

富山県中央植物園

国内外の野生植物を中心に、中国雲南省の植物や日本海側特有の植物など約5,000種類を収集・展示している。平成8年に全面開園、12年に雲南温室がオープンした。植物についての理解を深めるとともに、植物の美しさに触れ、憩い、安らぐ場を提供する。また、植物に関する専門的な調査研究を行うほか、ユニークな企画展示や観察会などを通して教育普及活動も行っている。

開園時間 / 午前9時～午後5時  
 (入園は午後4時30分まで)  
 11月～1月は午前9時～午後4時30分  
 (入園は午後4時まで)  
 入園料 / 高校生以上600円、小・中300円  
 第2・4土曜日は高校生以下無料  
 休園日 / 木曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土・日・祝日のときは開園)、年末年始(12月28日～1月4日)  
 月例行事 / 日曜植物案内  
 毎月第1日曜日 午前11時～正午  
 植物園オリエンタリング  
 毎月第3日曜日  
 午前10時30分～12時30分  
 問合せ / ☎076(466)4187  
 ホームページ / http://www.bgym.org

バスで  
 富山駅前から徒歩で のりば  
 ファーレ経由秋の鳥行き  
 中央植物園口下車 徒歩約8分  
 自家用車で  
 北陸自動車道富山ICから約15分



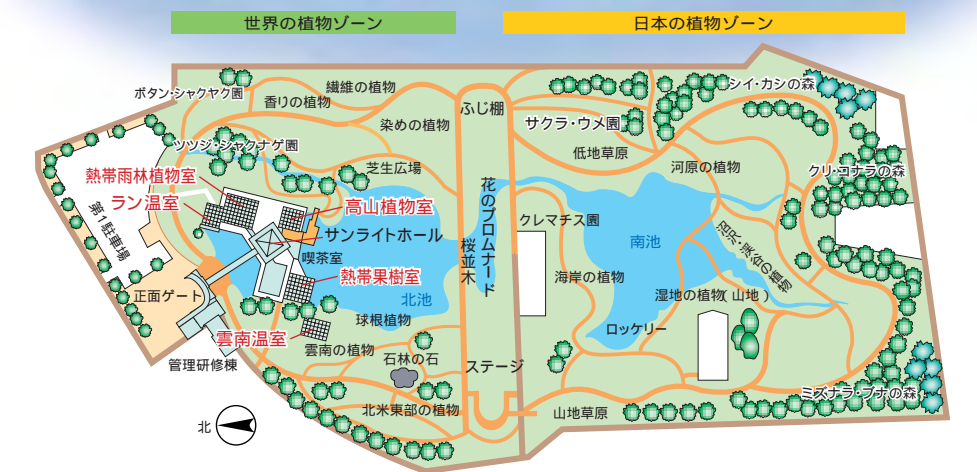
話題の植物のエリアには、沖縄の植物グーヤー(ニガウリ)が栽培されている。



園内の南半分は、日本の植物ゾーン。低地草原のエリアでは、今の時期、秋の七草が見ごろ。



南池に沿って、河原や湿地の植物が生育している。名も知らなかった花や草を、それぞれが育つ自然環境と一緒に知ることができる。



熱帯果樹室にあるバオバブは、サン＝テグジュペリの小説「星の王子さま」に登場するアフリカの木。



ラン温室では色とりどりに咲き誇る園芸品種のランがお出迎え。樹木や岩に張り付いて生育する着生ランなど、実際の環境そのままに栽培されている。



中央植物園のシンボル、大きな温室群が迎えてくれる。



世界の熱帯・亜熱帯の野生植物を展示する熱帯雨林植物室に咲くベニバナトケイソウ。



見ごろの花や実を矢印型のサインが教えてくれる。矢印の先を見ると、鮮やかな熱帯スイレンの花。

植物の世界をめぐり、自然の奥深さと多様さを実感。

自然の力を教えてくれる植物のワンダーランド。

富山県中央植物園

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

植物の世界は、驚きの連続。ガラスのブリッジのような温室と南北二つの池、あたり一面に広がる緑が美しく溶けあう中央植物園。二十四・七ヘクタールの広大な敷地に、五つの展示温室と屋外展示園があり、さまざまな植物の世界を見ることが出来る。

巨大な植物やシダ類が繁る熱帯雨林植物室では植物のスケールやパワーに圧倒され、ラン温室では美しいランに魅了される。厳しい環境のなかで生きてきた花や草と出会う高山植物室、パイナップルやコーヒーなどの木に実がなっている様子を見ることが出来る熱帯果樹室。温室を巡るだけでも、初めて見る植物や名前が知っていても見たことがなかった植物に次から次へと出会う。

葉の形、花の色、木の大きさ、繁殖の方法など、一つ一つの植物に個性がある。世界の気候や環境の違いが、これほど多様な植物を生み出したのかと驚かされる。

雲南省は、植物の宝庫

中国の西南部に位置する雲南省は、一万五千種もの植物が生育する植物の宝庫。日本の植物と共通の祖先を持つものが多く、日本の植物のルーツを知る上で興味深い地域とされている。雲南温室には、雲南省から集められた植物が展示されている。トウツバキの園芸品種やギンコウボクなど、あでやかな姿と芳香が堪能できる。また、温室の周囲の屋外でも雲南の植物を見ることが出来る。

世界と日本のゾーンを散策

屋外展示園は、北側が世界の植物ゾーン、南側が日本の植物ゾーンになっている。

人里近くに生育する植物や高原に見られる植物、沼や湿地に生育する水生植物など、各区画ごとに集められている。入園時に開花情報を記した地図「見ごろの植物」を渡されるので、それをガイドに散策する。

一つ一つ見ていくと、風景として見えていた植物が、それぞれの名前や特性を知ることで見え方が変わってくる。また、区画ごとに違う植物と環境に出会い、小さな旅をしているような楽しさがある。

屋外はもちろん、温室にも季節があり、「見ごろの植物」も月に三回作成されている。中央植物園は訪れるたびに違う表情を見せる自然のワンダーランドである。

# いちばん好きなのは 富山の人、温かい心



京劇俳優・とやま日中文化交流会副会長

ちん けんきょう  
**陳 建強さん**

1957年生まれ 富山市在住

中国浙江省出身の陳建強さん(43歳)は、中国の伝統演劇である京劇の主演俳優。公演で日本を訪れた際に通訳を務めた現在の奥さんと1992年に結婚。以来、奥さんのふるさとである富山県に住み、舞台公演のほか、とやま自遊館などで太極拳の指導にもあたっている。また、とやま日中文化交流会の副会長として、両国の文化の架け橋の役割も果たしている。



太極拳は、無理をしない運動。その人にあった練習をして、自然と一体になることが大切。

## 思いがけない外国生活に困惑

「日本に来て、生まれて初めて刺身を食べたときは、一週間おなかをこわしました(笑)。いまは大好きですよ、富山は特に刺身がおいしいから」  
そう言って笑う陳さん。初来日は一九八七年。浙江省京劇団(現浙江京昆芸術劇院)の主演俳優としてだった。翌八八年、九一年にも公演で来日。その折に中国語通訳を務めていた現在の奥さんと知り合い、九二年に結婚。その年初めて富山を訪れた。

当初は「すぐ帰るつもりだった」が、県内のホテルなどから、京劇の公演依頼が相次いだ。十三歳のとき、約五千人のオーディションで選ばれ、京劇の道に入って以来、中国国内の第一線で活躍してきたが、中国が誇る伝統文化を日本の多くの人が

に知ってもらいたいと思い、富山に住むことを決めた。それから始まった多忙な日々は、陳さんにとって慣れない生活に困惑する日々でもあった。  
「言葉が話せない。仲間もない。三十五歳からの外国生活は、すくすくらしいものでした」

## 気持ちはずっかり富山県民

戸惑い悩む陳さんを支えてくれたのは、奥さんであり、京劇公演を通して知り合った人たちだった。  
太極拳の指導を始めるようになったのも、劇団文芸座と共演したときの打ち上げパーティで、太極拳を隠し芸として披露したのがきっかけ。陳さんのゆったりと流れるような動きに、ぜひ教えてほしいという声があがった。陳さんは、多くの人の尽力もあって、教室を開設。現在は県内各地に教室が増え、小学三年生から七十七歳まで幅広い年代の生徒が、陳さんの指導を受けている。

「これまでいろんな人たちにお世話になりました。仲間もたくさんできました。私が富山を大好きなのは、何よりも富山の人、温かい心の人間が好きだからです。気持ちはすっかり富山県民です」

## 文化を往来させる人の架け橋

京劇公演、太極拳指導で活躍する一方、とやま日中文化交流会の副会長として、両国の文化交流にも力を注ぐ陳さん。これまでに日本舞踊、狂言、茶道、生花といった日本文化を中国に紹介してきた。

「何千年も前に中国の文化が日本に入り、だんだん日本風になりました。日本の文化になりました。それは日本だけのもの。本物の日本文化を中国に紹介したいと思っています」  
日本の文化を中国へ。そして中国の文化を日本へ。今月には浙江京昆芸術劇院が来県し、かつての仲間と一緒に富山で京劇を公演するという夢が現実のものとなる。  
太極拳では、中国で公認される真の指導者を育てたいと願う陳さん。その情熱が日本と中国の文化を確実に往来させている。






レパートリーの多い陳さんの代表的な役柄、孫悟空。ユーモラスな表情と軽妙な立ち回りで観衆をひきつける。



## 統計調査課からのお知らせ

今年10月に次の調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

調査名	内容	実施機関
 事業所・企業統計調査	平成13年10月1日(月)現在の県内すべての事業所・企業における事業の種類や従業者数などを調査します。 9月下旬から調査員が伺います。	総務省統計局 富山県 市町村
 社会生活基本調査	平成13年10月20日(土)を基準に、指定の2日間の「生活時間」や1年間の「活動状況」などを調査します。 調査対象の世帯には、10月上旬から中旬にかけて調査員が伺います。	総務省統計局 富山県
 富山県IT(情報技術)利用状況調査	平成13年10月1日(月)現在の県内すべての事業所・企業におけるITの利用状況を調査します。 10月上旬から中旬にかけて調査員が伺います。	富山県

問合せ 県庁統計調査課 ☎ 076(444)3190  
076(444)3192

### C型肝炎ウイルス検査の実施について

C型肝炎ウイルスなどの感染状況を確認していただくため、各保健所で検査を実施しています。

保健所名	検査曜日(受付時間)	電話番号
新川保健所	火曜、金曜(9:00~10:30)	0765(52)1224
中部保健所	火曜(9:00~11:00) 金曜(13:00~14:00)	076(472)1234
高岡保健所	月曜、木曜(9:00~10:30)	0766(26)8414
砺波保健所	水曜、金曜(9:00~10:00)	0763(22)3511
富山市保健所	水曜、金曜(9:00~10:00)	076(428)1152

検査手数料 2,680円

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染している可能性のある方については、保健所のHIV抗体検査(無料・匿名)の際に、併せてC型肝炎の抗体検査を無料で受けることができます。(平成13年10月31日まで)

問合せ 最寄りの保健所  
または県庁健康課 ☎ 076(444)3225

### 県民芸術文化祭2001総合フェスティバルの開催

<オープニングフェスティバル>

堀正文氏(NHK交響楽団ソロコンサートマスター)のヴァイオリン公演など、様々なステージ公演を行います。  
日 時 9月23日(日・祝)午後2時~4時30分  
会 場 砺波市文化会館(砺波チューリップ公園隣接)  
入 場 料 無料(入場券が必要です)  
申込方法 はがきに、希望枚数と代表者の住所、氏名、電話番号を記入し、下記までご応募ください。  
募集締切 9月10日(月)当日消印有効(応募多数の場合、抽選)

<生活文化展>

いけばなのなかで、美術作品の展示、音楽・舞踊などの公演、お茶会の開催など、多彩な芸術文化展を行います。  
日 時 9月22日(土)~25日(火)午前10時~午後5時  
会 場 砺波市農村環境改善センター(砺波市文化会館に併設)  
砺波市美術館(砺波チューリップ公園内)  
入 場 料 無料(入場券は必要ありません)

問合せ 〒930-8501 県庁生活文化課内  
富山県民芸術文化祭実行委員会事務局  
☎ 076(444)9616

### 介護保険料の本来額の納付開始

65歳以上の方には、介護保険のサービスに理解をいただきながら保険料を負担していただくため、昨年10月から1年間は、本来額の半額を納めていただいています。今年10月からは本来額の保険料を納めていただくことになっています。

65歳以上の方の保険料



保険料の額や納入方法など詳しくは、お住まいの市町村や介護保険組合へおたずねください。

### 「とやま廃棄物プラン」へのご意見、アイデアの募集

廃棄物の減量化を図り、循環型社会の形成を実現することを目的として、平成14年度に県が策定する「とやま廃棄物プラン」へのご意見、アイデアなどを募集します。

募集内容 家庭で実践することが必要と思われる取り組み  
循環型社会を形成するため全県的に推進することが望ましいと思われる取り組み  
その他、廃棄物処理およびリサイクルに関するご意見、アイデアなど

募集期間 9月3日(月)~11月2日(金)

応募方法 県庁環境政策課および各市町村の廃棄物担当窓口  
に備付けの用紙に必要事項を記載のうえ、郵送またはFAXで送付。県のホームページでも受け付けています。

(<http://www.pref.toyama.jp/sections/1705/1705.htm>)

問合せ・応募先 県庁環境政策課  
☎ 076(444)3140 FAX 076(444)3480

中小企業向け融資制度のご案内

県では、新たな産業を創出し、県内産業を活性化するため、今年4月に中小企業者を対象とする新産業・ベンチャー創出支援資金を創設しました。融資対象、金利等は下記のとおりです。申請手続きなど詳しくは、県内金融機関または県庁中小企業課へお問い合わせください。

区分	融資対象	資金使途	金利・期間	限度額
IT推進枠	次の設備投資を行う事業者 企業内LAN、CAD/CAM、POSシステム等の導入のための設備 コンピュータ、情報通信機器等の製造設備 ソフトウェア、コンテンツ制作のための設備 ホームページ、データベースの制作	設備資金	年1.5% 10年	1億円
バイオ・深層水関連産業支援枠	次の設備投資を行う事業者 バイオテクノロジーを活用した新製品の開発製造のための設備 富山湾の海洋深層水を活用した新製品の開発製造のための設備	設備資金	年1.5% 10年	5,000万円
創業・ベンチャー支援枠	創業予定者、創業1年未満の方	設備資金 運転資金	年1.85% 設備資金 10年 運転資金 5年	3,000万円 創業予定者は2,000万円
	創造法、経営革新法の承認を受けた方	設備資金 運転資金	年1.75% 設備資金 10年 運転資金 5年	7,000万円 (運転資金1,000万円)
	新事業の展開を行う方	設備資金 運転資金	年1.75% 設備資金 7年 運転資金 5年	4,000万円 (運転資金1,000万円)

その他の中小企業向け融資制度につきましては、県のホームページでご覧になれます。  
(<http://www.pref.toyama.jp/sections/1300/1300.htm>)

問合せ 県庁中小企業課 ☎ 076(444)3248

編集部から

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

(例：最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

5・6月号プレゼント当選者

桜ヶ池クアガーデン  
アクアオアシスプール招待券  
山田文夫さん(富山市)  
嶋倉ちづるさん(高岡市)  
明 敏子さん(新湊市)  
米林佳奈さん(砺波市)  
堀井俊治さん(大沢野町)

正解は「インフォメーション」でした。

7月号プレゼント当選者

県立近代美術館オリジナル筆箋  
阿部明美さん(富山市)  
山岡正美さん(高岡市)  
草木由美子さん(滑川市)  
荻野純子さん(黒部市)  
堀 雅美さん(上市町)  
金谷昌子さん(大島町)  
大西立子さん(福野町)  
久保あやさん(千葉県)  
杉浦清紀さん(大阪府)  
下出谷カナ子さん(大阪府)

正解は「元気」でした。

とやまの情報お伝えします!【9月の県政番組】 タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ  
毎週日曜 11:00~11:30

2日 子どもとやま県議会  
9日 万一に備える救急医療  
16日 香り高い芸術文化  
23日 ふるさと探訪 ~福岡町~  
30日 生涯スポーツ社会をめざして

とやまDASH! 富山テレビ  
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00~9:30

2日 山歩き  
9日 救急  
16日 富山の元気シニア  
23日 動物大集合  
30日 秋まつり

富山が元気。 チューリップテレビ  
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00~10:52

23日 今年の秋は芸術に挑戦

とやま県間録 FMとやま  
毎週月曜~木曜 11:30~11:40  
毎週土曜 11:30~11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」  
9月8・22日の朝刊各紙に掲載予定  
富山県ホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ ご応募お待ちしております。

毎年9月1日は何の日でしょうか。

「 日」とお答えください。

答えはクローズアップを読めばわかります。

応募方法

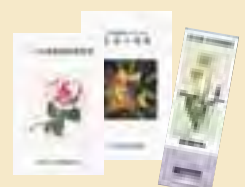
ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま9月号」クイズ係

締切/10月3日(水)(消印有効)

正解者の中から5名の方に、9・10ページで紹介した「富山県中央植物園」の入園券と絵はがきをペアでプレゼントします。





## 近代美術館

富山市西中野町1-16-11  
☎076(421)7111

とやま現代作家シリーズ  
こころの原風景  
【10/4(木)~11/25(日)】  
若手を中心とした本県ゆかりの作家32人の  
新作・近作を展示し、現在の富山県美術の動  
勢をさぐります。  
一般700円/高・大500円/小・中350円  
常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00  
☎月曜・祝日の翌日  
常設展示観覧料  
一般200円 高・大160円 小・中100円






## 水墨美術館

富山市五福777  
☎076(431)3719

文化勲章に輝く 京都画壇11人の巨匠たち  
【9/29(土)~10/28(日)】  
竹内栖鳳から上村松園、小野竹喬、秋野不矩  
など、京都画壇の文化勲章受章者11人の代  
表作品を紹介しします。  
一般900円/高・大650円/小・中450円  
常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(ただし、入室は16:30まで)  
☎月曜(10/8は閉館)・祝日の翌日  
常設展示観覧料(展示室以外は無料)  
一般200円 高・大160円 小・中100円






## 立山博物館

立山町戸崎93-1  
☎076(481)1266

特別企画展  
「地獄遊覧-地獄草紙から立山曼荼羅まで」  
【9/29(土)~11/4(日)】  
国宝・国指定重要文化財を含む約40数点の絵画  
を通して日本の地獄思想の変遷を紹介しします。  
一般200円/高・大160円/小・中100円

9:30~17:00(☎月曜・祝日の翌日(9/16は閉館))  
9/26~28は展示館のみ閉館  
一般650円 高・大400円 小・中250円  
展示館・遙望館・まんだら遊苑の3施設セット券






## 立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前  
☎076(481)1660

企画展「雪 SNOW」-知られざる立山の雪の世界-  
【9/24(月)まで】無料  
立山を舞台とした雪の神秘的な世界を紹介しています。  
フィールドウォッチング「常願寺川の砂防施設めぐり」  
【10/11(木)9:00~16:30】  
常願寺川の砂防施設を見学し、災害から人々の安全  
を守るための英知と努力などについて考えます。  
対象/小学3年生以上(小学生は保護者同伴)  
参加費1,000円 集合・解散場所/県庁前  
定員40名 要申込 9/30まで

9:30~17:00(☎月曜・祝日の翌日)  
常設展示観覧料一般400円 高・大320円 小・中200円



## 中央植物園

婦中町上橋田42  
☎076(466)4187

企画展「森の妖精 きのこ」  
【10/5(金)~10(水)9:00~17:00】  
いろいろな姿や色合いのきのこを実物や写  
真で紹介しします。  
入園料が必要です。

どんぐりで遊ぼう  
【10/21(日)13:00~16:00】  
どんぐりを材料にして、こまなどのおもちゃ  
を作ります。

9:00~17:00  
☎木曜・祝日の翌日、9/25  
一般600円 小・中300円


## 県民公園太閤山ランド

小杉町黒河4774-6  
☎076(56)6116

太閤山ランド秋祭り  
【10/7(日)・8(祝)10:00~16:00】  
シェフランドでは「食」ふわふわランド、パフォー  
マランド、ゲームランドでは「遊び」を満喫でき  
ます。

ニューゴルフ大会  
【10/21(日)9:45~14:00 受付9:00~】  
ニューゴルフ(パークゴルフなど)のストローク競  
技大会を行います。  
参加費1,000円(昼食代含む)

9:00~17:00(☎火曜・祝日の翌日)  
入園無料(駐車料金は別途必要)






## 海王丸パーク

新湊市海王町8  
☎076(825)8881

海王丸総帆展帆  
【9/2(日)・10/7(日)・21(日)】

親子海洋教室  
【9/23(日)・10/13(土)~14(日)】  
親子でカッター訓練やマスト登りにチャレンジし  
ます。  
対象/小中学生とその保護者 要申込

巨大フリーマーケット in 海王丸パーク  
【10/7(日)】  
入園自由 帆船海王丸は9:30~17:00  
☎月曜・祝日の翌日(9/24、10/8は乗船可能)  
一般400円 小・中200円


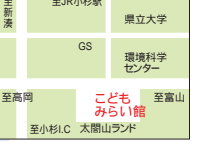
## こどもみらい館

小杉町黒馬(太閤山ランド内)  
☎076(56)9000

造形発見広場「色」  
【9/8(土)~30(日)】  
「色」をテーマとした様々な制作活動を通じ  
て、色を使った不思議な世界を体験できます。  
材料代100~300円

いわさきちひろ複製画展  
【9/30(日)まで】  
ちひろが描いた代表的な作品とちひろの折々の  
言葉やポートレートを紹介しします。

9:30~17:00  
☎火曜・第4水曜・祝日の翌日  
入館無料



## 自然博物館 ねいの里

婦中町吉住1-11  
☎076(469)5252

自然観察会「仲秋の星空と虫の声を楽しむ」  
【9/16(日)18:00~20:00】  
秋の星座を観察し、「スイッチョン広場」で秋  
の虫の鳴き声を鑑賞しします。  
対象/小学生とその家族 参加費/無料  
定員30名 要申込 9/14まで

「ねいの里のキノコ写真展」  
【9/14(金)~10/29(月)】  
ねいの里で見られる食用キノコや毒キノコ  
を写真と実物で紹介しします。

9:00~16:00  
☎火曜・祝日の翌日 入園無料



## 公文書館

富山市茶屋町33-12  
☎076(434)4050

特別企画展「記録にみる戦争と富山県民」  
【10/10(水)~12/7(金)】  
公文書をもとに、太平洋戦争時の県民生活の  
状況を紹介しします。

平成13年度 古文書教室中級実践コース  
【10/18(木)・11/1(木)・15(木)・29(木)】  
募集期間 9/28(金)~10/8(日)  
テーマ「富山藩領の地方文書を読む」  
講師 中村太一路氏(富山市文化財調査審議委員)

9:00~17:00  
☎土曜・日曜・祝日 入館無料


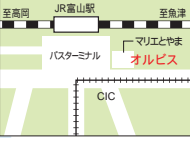



## 県民小劇場オルビス

富山駅前マリエ7階  
☎076(445)4531

「舞台芸術・芸能一発見ライブ in ORBIS」  
草原の音楽っておもしろい!  
【10/6(土)18:30~】  
絵本「スーホの白い馬」で知られる馬頭琴。  
モンゴルに古くから伝わるみずみずしい音  
色を奏でる馬頭琴と語りが生み出す独特の  
優しい音楽世界が観客を包み込みます。

出演/嵯峨治彦(馬頭琴 他)  
田中孝子(語り)  
3,000円(前売・当日とも)全席自由


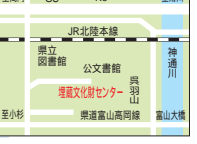
## 埋蔵文化財センター

富山市茶屋町2061-3  
☎076(434)2814

特別企画展  
「縄文のたくみ 弥生のたくみ」  
【10/4(木)~11/9(金)】  
北陸の縄文遺跡、弥生遺跡からたくみのわざ  
を選びすぐって紹介しします。

公開講座  
「縄紋のたくみ 弥生のたくみ」  
【10/13(土)13:30~】  
講師/国立歴史民俗博物館長 佐原 眞氏

9:00~17:00  
☎土曜・日曜・祝日(会期中は無休)  
入館無料



## 山深く、ゆかしく、 素朴な音色に踊る

# とやま 音のある 風景

Vol.36

山並みに響くこきりこ祭り  
平村

急峻な山々に抱かれ、かつては秘境と呼ばれた五箇山。山間の地でひっそりと暮らしを営んできた人々は、数々の民謡を歌い踊り継いできた。

こきりこの歌と踊りも、そのひとつ。もとは、米の豊作を祈って歌い踊った田楽だという。それを五箇山に伝えたのは南北朝の頃の落人だといわれる。

今年も、九月二十五・二十六日、平村の白山宮で、こきりこ祭りが行われる。杉の大木が繁り、厳かな空気が漂う白山宮に、古式ゆかしくこきりこ踊りが奉納される。いつもは静かな境内も、二日間、祭りの高まりに包まれる。

「窓のサンサモテレコテン」 はれのサンサモテレコテン」

四人の舞姫が、こきりこ(小切子)という小さな竹の楽器を手に踊る。長さは、七寸五分(約二十三センチ)。両手に持って軽やかに打ち合わせる。

狩衣に山鳥の羽のついた編み笠は、男性の装束。手には短冊型の板を束ねたササラ。百八枚の板を打ちならして、煩惱を振り払う。

ジャツ、ジャツ。小気味のいいリズムと素朴な音は連なる山々に響き、祭りは自然と一体となる。心にしみいるような純朴な歌と踊り。祭りが終わると五箇山の秋は足早に深まっていく。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。